

事業所名

療育支援リンクサポート

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024年

10月

16日

法人（事業所）理念	さまざまな運動を楽しみながら、こども自身が主体的に自分の体を感じとり「感じる力」「からだや心のバランスをとる力」「力のコントロール」を育て、「姿勢を調整する力」「コミュニケーションの力」「見る力」「聞く力」などを伸ばします。							
支援方針	生活習慣の一つとして運動習慣も身につくよう、「身体を動かすこと」や「チャレンジすること」を楽しめるよう支援していきます。							
営業時間	10時	0分	から	16時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	運動習慣が身につくよう、楽しみを持って通所して頂けるよう支援しています。更衣動作の習得に向け、声掛け、手添え、視覚支援等を行っています。						
	運動・感覚	プールでの療育を通じて出来なかったことが出来る感覚を体験することと合わせて協調運動の発達の支援を行っています。						
	認知・行動	「〇〇時に次のプログラムにうつります」と具体的におもちゃの時計にて伝えることで、見通しをつけ、場面の切り替えができるようことが身につくよう支援しています。						
	言語 コミュニケーション	ジェスチャーにて挨拶や気持ちが表現できるよう、職員がモデルとなって示す支援を行っています。絵本を一緒に読むことで平仮名の習得に繋がる支援を行っています。						
	人間関係 社会性	小集団にて順番を守るなどのルールが身につくよう手添えや視覚支援にて支援しています。						
家族支援	近況を尋ねたり活動の状況を確認させていただきます。ご家族に生活や活動についての質問や疑問について説明や助言を行います。また、連絡帳にて活動の様子をお伝えさせていただきます。	移行支援	個別支援会議に参加し、他事業所、園、相談支援事業所への情報提供を行い連携することで認識のもと支援できるようにしていきます。					
地域支援・地域連携	公共のプールを利用することで地域の方々との交流や公共のプールスタッフとのコミュニケーションが持てる場の提供をします。また、スイミングスクールに定期的に合流することで地域の子供たちとの交流の場を提供します。	職員の質の向上	自立支援協議会の主催する研修に参加しています。					
主な行事等	お別れ会							

事業所名

療育支援リンクサポート

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024年

10月

16日

法人（事業所）理念		さまざまな運動を楽しみながら、こども自身が主体的に自分の体を感じとり「感じる力」「からだや心のバランスをとる力」「力のコントロール」を育て、「姿勢を調整する力」「コミュニケーションの力」「見る力」「聞く力」などを伸ばします。								
支援方針		生活習慣の一つとして運動習慣も身につくよう、「身体を動かすこと」や「チャレンジすること」を楽しめるよう支援していきます。								
営業時間		16時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	運動習慣が身につくよう、楽しみを持って通所して頂けるよう支援しています。プライベートゾーンへの羞恥心が身につくようタオルで身体を隠して更衣動作が行えるよう手添え、声掛け、視覚支援等を行っています。								
	運動・感覚	プールでの療育を通じて出来なかったことが出来る感覚を体験することと合わせて協調運動の発達の支援を行っています。								
	認知・行動	「〇〇時に次のプログラムにうつります」と具体的に伝え、プログラムの中で時間を確認して行動し、自身で切り替えができ、見通しをつけることができるようになるよう支援を行っています。								
	言語 コミュニケーション	挨拶や、会話をする際に職員と目を合わせることが習慣になるようその都度確認し支援しています。								
	人間関係 社会性	小集団の中で役割を持って活動し、視覚支援や指示を聞くことで行動できるよう支援しています。								
家族支援		近況を尋ねたり活動の状況を確認させていただきます。ご家族に生活や活動についての質問や疑問について説明や助言を行います。また、連絡帳にて活動の様子をお伝えさせていただきます。				移行支援		個別支援会議に参加し、他事業所、学校、相談支援事業所への情報提供を行い連携することで認識のもと支援できるようにしていきます。		
地域支援・地域連携		公共のプールを利用することで地域の方々との交流や公共のプールスタッフとのコミュニケーションが持てる場の提供をします。また、スイミングスクールに定期的に合流することで地域の子供たちとの交流の場を提供します。				職員の質の向上		自立支援協議会の主催する研修に参加しています。		
主な行事等		お別れ会 職業体験								

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援リンクサポート 放課後等デイサービス/児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2024年8月20日		～	2024年9月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	放課後等デイサービス19家庭 児童発達支援 15家庭	(回答者数)	放課後等デイサービス15家庭 児童発達支援 12家庭
○従業者評価実施期間	2024年9月3日		～	2024年9月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度	プール活動を通し身体の使い方を指導し、協調運動の発達を支援している。また、人員配置を工夫することで個別に指示の内容が理解できているかの確認ができ、それぞれにあった伝え方を行うことでプログラムの流れに沿え、不安なく活動に参加して頂けるよう取り組んでいる	プログラムの内容を口頭や連絡帳にてお知らせし、親子で活動について振り返って頂く機会とし、次回の来所へつなげていく
2	適切な支援の提供	支援の内容やプログラムの内容について話し合えるよう、毎週決められた曜日に会議の場を設けている。また、保護者からの情報は全員で共有できるよう職員間のコミュニケーションを大切にしている	情報共有を行うことで、保護者がどの職員にも話しやすい環境をつくっていく。また、個別支援計画に専門的支援計画表が加わることで、より具体性のある計画を立てていく
3	保護者への説明	モニタリング以外にも相談しやすいよう人員配置を行っている	相談しやすい雰囲気や環境の設定に努めていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニング	ペアレントトレーニングの有資格者がいないため	研修の情報の提供を行っていく
2	児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園との交流や放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のないこどもと活動する機会があるか	活動中に交流の機会を設けることが困難なため	年に最低一回は支援ミーティングの開催などの検討を行う
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	本来、プール活動のプログラムをしており、プール活動がお休みの時に避難訓練を実施していたため、周知徹底がされにくかったため	二か月に一度のお便りにて明確にお知らせすると共に、防災週間の期間を設定する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	療育支援リンクサポート（放課後等デイサービス）
------	-------------------------

公表日 2024年10月23日

利用児童数 2024/9/13 19家庭

回収数 15家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1	なし	現状の中でその時々に応じた最良の環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1	なし	引き続き工夫をしたプログラムが提供できるよう取り組みます。また、こどもの特性にあわせ、敢えてプログラムの固定化を行うこともあります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	2	4	なし	今後、保護者からのご希望や必要があれば、随時情報提供を行います。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	1	1	なし	今後、保護者からのご希望や必要があれば、随時情報提供を行います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13			2	なし	モニタリング以外でも、保護者様のご要望に応じ、その都度対応させていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	3	1	なし	イベントにて、保護者、ごきょうだいにも参加して頂ける機会を設けております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			4	なし	相談しやすい環境作りや人員配置に努めます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				なし	引き続き維持していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13		1	1	なし	二か月に一度、お便りを発行しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1		1	なし	プライバシーマークを取得し、研修を行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		2	なし	お便りにて防災訓練の予定をお知らせし、防災週間等を設けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	2		なし	年に2度以上、利用者と共に避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	2		なし	BCPを策定し、職員研修を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	2		なし	事故発生時マニュアルにて速やかに対応できるようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13			2	なし	安心して通所できるようより良い支援に努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	2			なし	安心して通所できるようより良い支援に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				なし	引き続き維持していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	療育支援リンクサポート（児童発達支援）		公表日 2024 年 10 月 23 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		法令を遵守し、スペースを確保しています。活動内容により近隣の当社指定管理施設のプールや会議室等の広いスペースを使い活動を実施しています。	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。感染症対策として、人数制限等の調整をしつつ実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		法令で示された配置数とプログラムに応じた職員を確保しています。	引き続き維持していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		室内のバリアフリー化と活動時の子どもの導線を考慮しています。シンプルな内装等に子どもたちの注意・集中を妨げるものがないよう配慮しています。	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		冷暖房の完備により年間を通じて活動時に快適な過ごしやすい環境設定・温度設定をしています。	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じ、個別で対応できる部屋を用意してあります。	引き続き維持していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		日々、業務につく前に申し送りと、当日参加者の状況確認を行います。随時、カルテや支援記録の確認、モニタリング等の目標や支援経過について情報交換を行うとともに、定期的なカンファレンスを実施しPDCAを行い今後の支援について話し合う機会を設けています。	今後も意見交換や報告・伝達の間を確保し、職員の積極的な参画ができるよう、努力致します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎年一回保護者アンケートを行い、職員間で話し合う機会を設けています。	引き続き維持していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		週に一度会議を設けており、業務や児童対応への話し合いをし、改善につなげています。	引き続き維持していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	従来の利用者・事業所の二者評価に加え、プライバシーマークを取得し個人情報管理の強化に努めています。	社内では、毎月の施設モニタリングを実施し、改善箇所の確認をし、点検、チェックを行っています。また、プライバシーマーク取得申請に必要な要求事項の改善に取り組んでいます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部への研修、事業所内での実習する機会を設けています。	引き続き、職員の資質向上のため事業所内での実習や研修を実施していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		自己評価結果公表と共に公表しています。	継続して年に一度の公表を行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		定期的に職員間での支援状況の確認や、計画・支援の見直しを行い計画を作成しています。また、モニタリングの際に保護者にニーズを確認し、必要に応じて修正しています。	引き続き、丁寧な支援が行えるよう取り組んでいきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		日常的に子どもたちの様子の情報共有を行い、最善の支援ができるような体制を整えています。	引き続き維持していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		カンファレンスには職員全員が参加し、支援について共有しています。カンファレンスに参加することで計画に沿った支援を行っています。	引き続き、丁寧な支援が行えるよう取り組んでいきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		職員間で必ず共有し、把握したうえで行動観察をし支援に繋げています。	引き続き維持していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		放課後等デイサービスのガイドラインに則り、適切な支援が行えるよう努めています。	引き続きガイドラインに則った支援内容を設定してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		各プログラムの担当者が立案し、実施しています。日常的に子どもたちの様子等について意見交換等を行い修正等を行っています。	引き続き維持していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	季節や期間を決めて、子どもたちが飽きることなく楽しんで参加できるようプログラムを更新しています。また、敢えてプログラムの固定をしている場合もあります。	引き続き、利用者それぞれにあったプログラムを提供できるよう工夫して参ります。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別の課題と集団での課題を、子どもの運動能力や行動特性に合わせて設定し放課後等デイサービス計画の作成をしています。	継続して取り組みます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		日々の業務に入る前に伝達や申し送りをすると共に伝言ノート等を活用して情報の共有・役割分担の確認を行っています。	継続して取り組みます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		活動報告を記入したり、振り返り・申し送りを行うことで情報共有を行っています。	継続して取り組みます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		利用者のプログラムへの参加の様子や、変化点について記録し、見直しや改善を行うと共に目標に向けた継続した支援を行っています。	継続して取り組みます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にカンファレンスやモニタリングを行い、保護者への生活状況の確認や現状報告を受けて、必要に応じて見直し機会を設けています。	継続して取り組みます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		ガイドラインを職員間で読み合わせ、共通理解の上、支援を行っています。	継続して取り組みます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	プログラムの中に自由時間を設けることで、自身でしたいことが選択できるよう支援しています。	引き続き、自己選択できるプログラムを提供できるよう努めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	可能な限り、児童発達支援管理責任者と児童指導員、保育士で参加できるようにしています。	継続して参加できるよう人員調整を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	相談支援専門員が開催する、サービス担当者会議に可能な限り参加しており、障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携が取れるようにしています。	継続して取り組みます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		送迎を行っていないため、学校との情報共有は相談支援専門員、または、保護者を通じて行っています。	必要に応じて、学校との連絡調整を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	相談支援専門員からの情報提供と保護者からの情報提供のみにっており、情報共有はできませんが、相互理解は難しい状況です。	必要に応じて就学前に利用していた関係機関との連携を図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		対象が小学生までのため、機会がありませんが、機会があれば提供します。	必要に応じて対応できるようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。		1	スーパーバイザーに助言を受けられる体制は整えています。	引き続き維持していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		1	水中プログラムの際に、健常児向けスイミングスクールと隣接するコースを使用したり、同じグループで参加できる機会を設けています。	継続して取り組みます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		自立支援協議会が主催する研修には可能な限りで参加しております。	引き続き参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳のやり取りや、面談、送迎の際に子どもの様子を保護者に伝え、見えてくる課題や特性、今後の対応について共通理解できるよう努めています。	継続して取り組みます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	利用者の特性を説明する中で対応の方法を伝えたり、家庭でもできる方法を伝えたりしています。ペアレント・トレーニングの有資格者がいないため、講座はできていません。	ペアレント・トレーニングに関する情報提供を行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に保護者に向けての説明を行っています。	現状を維持するとともに丁寧な説明を心がけます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		日々の子どもの様子や、モニタリングの際の保護者の意向等を確認したうえでサービスの提供が行えるようにしています。	継続して取り組みます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		定期的なモニタリングの際に、保護者に向けて説明を行い質問等をお受けしたうえで同意をいただいています。	現状を維持するとともに丁寧な説明を心がけます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		随時、相談をお受けして対応させていただいています。必要に応じて関係機関への紹介をしたり、相談支援専門員への相談を助めています。	現状を維持するとともに丁寧な説明を心がけます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	現在のところ、具体的な会の開催は行っていませんが、地域の自立支援協議会、NPO法人と連携し、保護者向けの講座の紹介や保護者会の紹介を行っていきます。	保護者に向け講座や保護者会等の情報提供を心がけます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		契約時に苦情相談窓口の説明を保護者に向けて行っています。相談を受けた場合には、関係者からの事実確認を早急に行う等、迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けています。また、対応内容については、書面での報告を行っています。	現状を維持するとともに、丁寧な説明や対応に更に心がけます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		二か月に一度、お便りを発行しています。	今後もお便りの内容や記載方法について検討し、取り組み等の発信ができるよう努力します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		プライバシーマークを取得し、年に1回のテストにて個人情報管理の強化に努めています。	継続して取り組みます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		必要に応じて口頭だけでなく書面での伝達やお知らせを行っています。	現状を維持するとともに、丁寧な説明や対応に更に心がけます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	事業所の行事等への招待は出来ていませんが、公共のプールを利用することで地域の方々に活動を知って頂ける環境になっています。	現状を維持し、地域住民の皆様のご理解をいただけるよう努力していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	それぞれ策定し、年1回以上の研修を行うと共に、ファイリングしたものを事業所の入り口に設置しいつでも閲覧して頂けるようにしています。	今後も、必要に応じて修正・整備していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを策定し年一回の研修と、避難訓練を年に2回以上行っています。	年に2回以上、利用者と共に避難訓練を行っています。今後も定期的実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		体験時や契約時に必ず確認を行っています。また、発作時の対応は職員間で共有しています。	今後も適切な対応を更に心がけます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食事の提供を行っていないため対応を行っていません。また、活動内容により必要な場合は事前に状況の確認を行うようにしています。	今後も適切な対応を更に心がけます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画のもと、研修に取り組めるようにしています。また、安全管理の計画表のもと定期的に確認し、安全な中で支援が行えるよう取り組んでいます。	継続して取り組みます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に保護者に説明を行っています。	今後も適切な対応を更に心がけます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット報告書は全員が目を通し、定期的に再発防止の話し合いの場を設けています。	更に意識を高め、詳細に報告するとともに、色々な場合を想定した改善につなげます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年一回以上の研修に参加することに合わせて、ヒヤリハットをもとに定期的に対応についての話し合いの場を設けています。	更に意識を高め、詳細に報告するとともに、色々な場合を想定した改善につなげます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		支援内容により、人命に関わる場合における身体拘束については、契約時に保護者に説明し、同意を得るようにしています。	現状を維持します。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 療育支援リンクサポート（児童発達支援）

公表日 2024 年 10 月 23 日

利用児童数 2024 年 9 月 13 日15家庭 回収数 12家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				事業所もプールも広いスペースがあります。	引き続き維持していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12				適切だと思います。	引き続き維持していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10				2 適切だと思います。	現状の中でその時々応じた最良の環境を整えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				適切だと思います。	引き続き維持していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				なし	引き続き維持していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				なし	引き続き維持していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				なし	引き続き維持していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				設定されています。	引き続き維持していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				なし	引き続き維持していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				1 楽しんでいます。スイミングだけでなく、トイレや手遊びがあつてありがたいです。	引き続き工夫したプログラムが提供できるよう取り組みます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	7	スクールに通ってくる地域のこども達との交流を本人も喜んでいます。	今後保護者からのご希望や必要があれば、随時情報提供を行います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				されています。	引き続き維持していきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				されています。	引き続き維持していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1	4	されています。	保護者からのご要望に応じて、情報提供を行います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				できています。	引き続き維持していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				行われています。	引き続き維持していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				なし	引き続き維持していきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		3	8	なし	イベントにて保護者やきょうだい参加できる機会を設けております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				1 対応されています。	モニタリング以外でも保護者のご要望に応じ、その都度対応させていただいています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				されています。	引き続き維持していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10			2	会報があります。	二か月に一度、お便りを発行しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1	されています。	プライバシーマークを取得し、研修を行い、職員に周知徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			3	されています。	お便りにて防災訓練の予定をお知らせし、防災週間を設けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		1	4	されています。	年に二度以上、利用者と共に避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			3	されています。	BCPを策定し職員研修を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			3	されています。	事故発生時マニュアルにて速やかに対応できるようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				しています。	引き続き維持していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				楽しみにしています。 プールをするのと職員に会えるのも楽しみにしています。	引き続き維持していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				満足しています。 今後もよろしく願います。 先生方によくしてもらいできるが増えました。	引き続き維持していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	療育支援リンクサポート（児童発達支援）				公表日	2024 年 10 月 23 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		法令を遵守し、スペースを確保しています。活動内容により近隣の当社指定管理施設のプールや会議室等の広いスペースを使い活動を実施しています。	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。感染症対策として、人数制限等の調整をしつつ実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		法令で示された配置数とプログラムに応じた職員を確保しています。	引き続き維持してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		室内のバリアフリー化と活動時の子どもの導線を考慮しています。シンプルな内装等に子どもたちの注意・集中を妨げることはないよう配慮しています。	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		冷暖房の完備により年間を通じて活動時に快適な過ごしやすい環境設定・温度設定をしています。	現状の中で、その時々に応じた最良の環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じ、個別で対応できる部屋を用意してあります。	引き続き維持してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		日々、業務に深く関与し、日々の業務改善の状況を確認を行います。随時、カルテや支援記録の確認、モニタリング等の目標や支援経過について情報交換を行うとともに、定期的なカンファレンスを実施しPDCAを行い今後の支援について話し合う機会を設けています。	今後も意見交換や報告・伝達の間を確保し、職員の積極的な参画ができるよう、努力致します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎年一回保護者アンケートを行い、職員間で話合う機会を設けています。	引き続き維持してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		週に一度会議を設けており、業務や児童対応への話し合いをし、改善につなげています。	引き続き維持してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	従来の利用者・事業所の二者評価に加え、プライバシーマークを取得し個人情報管理の強化に努めています。	社内では、毎月の施設モニタリングを実施し、改善箇所の確認をし、点検、チェックを行っています。また、プライバシーマーク取得申請に必要な要求事項の改善に取り組んでいます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部への研修、事業所内での実習する機会を設けています。	引き続き、職員の資質向上のため事業所内での実習や研修を実施してまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		自己評価結果公表と共に公表しています。	継続して年に一度の公表を行ってまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		定期的に職員間での支援状況の確認や、計画・支援の見直しを行い計画を作成しています。また、モニタリングの際に保護者にニーズを確認し、必要に応じて修正しています。	引き続き、丁寧な支援が行えるよう取り組んでまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		日常的に子どもたちの様子の情報共有を行い、最善の支援ができるような体制を整えています。	引き続き維持してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		カンファレンスには職員全員が参加し、支援について共有しています。カンファレンスに参加することで計画に沿った支援を行えています。	引き続き、丁寧な支援が行えるよう取り組んでまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		職員間で必ず共有し、把握したうえで行動観察をし支援に繋げています。	引き続き維持してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		児童発達支援ガイドラインに則り、適切な支援が行えるよう努めています。	引き続きガイドラインに則った支援内容を設定してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		各プログラムの担当者が立案し、実施しています。日常的に子どもたちの様子等について意見交換等を行い修正等を行っています。	引き続き維持してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	季節や期間を決めて、子どもたちが飽きることなく楽しんで参加できるようプログラムを更新しています。また、敢えてプログラムの固定をしている場合もあります。	引き続き、利用者それぞれにあったプログラムを提供できるよう工夫して参ります。

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別の課題と集団での課題を、子どもの運動能力や行動特性に合わせて設定し児童発達支援計画の作成をしています。	継続して取り組みます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		日々の業務に入る前に伝達や申し送りをすると共に伝言ノート等を活用して情報の共有・役割分担の確認を行っています。	継続して取り組みます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		活動報告を記入したり、振り返り・申し送りを行うことで情報共有を行っています。	継続して取り組みます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		利用者のプログラムへの参加の様子や、変化点について記録し、見直しや改善を行うと共に目標に向けた継続した支援を行っています。	継続して取り組みます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にカンファレンスやモニタリングを行い、保護者への生活状況の確認や現状報告を受けて、必要に応じて見直し機会を設けています。	継続して取り組みます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		可能な限り、児童発達支援管理責任者と児童指導員、保育士で参加できるようにしています。	継続して参加できるよう人員調整を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	相談支援専門員が開催する、サービス担当者会議に可能な限り参加しており、障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携が取れるようにしています。	継続して取り組みます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	相談支援専門員が開催する、サービス担当者会議に参加し、各連携機関との情報共有、相互理解に努めています。	継続して取り組みます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	相談支援専門員が開催する、サービス担当者会議に参加し、各連携機関との情報共有、相互理解に努めています。	継続して取り組みます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	スーパーバイザーに助言を受けられる体制を整えています。	引き続き維持していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1	水中プログラムの際に、健常児向けスイミングスクールと隣接するコースを使用したり、同じグループで参加できる機会を設けています。	継続して取り組みます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳のやり取りや、面談、送迎の際に子どもの様子を保護者に伝え、見えてくる課題や特性、今後の対応について共通理解できるよう努めています。	継続して取り組みます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	利用者の特性を説明する中で対応の方法を伝えたり、家庭でもできる方法を伝えたりしています。ペアレント・トレーニングの有資格者がいないため、講座はできていません。	ペアレント・トレーニングに関する情報提供を行っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に保護者に向けての説明を行っています。	現状を維持するとともに丁寧な説明を心がけます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		日々の子どもの様子や、モニタリングの際の保護者の意向等を確認したうえでサービスの提供が行えるようにしています。	継続して取り組みます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		定期的なモニタリングの際に、保護者に向けて説明を行い質問等をお受けしたうえで同意をいただいています。	現状を維持するとともに丁寧な説明を心がけます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		随時、相談をお受けして対応させていただいています。必要に応じて関係機関への紹介をしたり、相談支援専門員への相談を勧めています。	現状を維持するとともに丁寧な説明を心がけます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	現在のところ、具体的な会の開催は行っていませんが、地域の自立支援協議会、NPO法人と連携し、保護者向けの講座の紹介や保護者会の紹介を行っています。	保護者に向け講座や保護者会等の情報提供を心がけます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		定期的に自前相談窓口の説明と保護者向けに行っています。相談を受けた場合には、関係者からの事実確認を早急に行う等、迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けています。また、対応内容については、書面での報告を行っています。	現状を維持するとともに、丁寧な説明や対応に更に心がけます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		二か月に一度、お便りを発行しています。	今後もお便りの内容や記載方法について検討し、取り組み等の発信ができるよう努力します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		プライバシーマークを取得し、年に1回のテストにて個人情報管理の強化に努めています。	継続して取り組みます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		必要に応じて口頭だけでなく書面での伝達やお知らせを行っています。	現状を維持するとともに、丁寧な説明や対応に更に心がけます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	事業所の行事等への招待は出来ていませんが、公共のプールを利用することで地域の方々に活動を知って頂ける環境になっています。	現状を維持し、地域住民の皆様のご理解をいただけるよう努力していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	それぞれ策定し、年1回以上の研修を行うと共に、ファイリングしたものを事業所の入り口に設置しいつでも閲覧して頂けるようにしています。	今後も、必要に応じて修正・整備していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを策定し年一回の研修と、避難訓練を年に2回以上行っています。	年に2回以上、利用者と共に避難訓練を行っています。今後も定期的実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		体験時や契約時に必ず確認を行っています。また、発作時の対応は職員間で共有しています。	今後も適切な対応を更に心がけます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食事の提供を行っていないため対応を行っていません。また、活動内容により必要な場合は事前に状況の確認を行うようにしています。	今後も適切な対応を更に心がけます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	現在のところ、作成していません。	今後、必要に応じ対応していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	現在のところ、作成していません。	今後、必要に応じ対応していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット報告書は全員が目を通し、定期的に再発防止の話し合いの場を設けています。	更に意識を高め、詳細に報告するとともに、色々な場合を想定した改善につなげます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年一回以上の研修に参加することに合わせて、ヒヤリハットをもとに定期的に対応についての話し合いの場を設けています。	更に意識を高め、詳細に報告するとともに、色々な場合を想定した改善につなげます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		支援内容により、人命に関わる場合における身体拘束については、契約時に保護者に説明し、同意を得るようにしています。	現状を維持します。	